



# 新型コロナウイルス 緊急事態宣言解除、活動再開へ

第 503 号

発行：  
茅ヶ崎サッカー協会  
広報委員会  
(Web版 008号)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急事態宣言が解除され、活動が3月末から再開した。4月からは、各カテゴリー共、感染対策を十分に行い、リーグ戦、各種大会を実施している。

## 第39回茅ヶ崎杯・グリーンカップ特別大会 FC50.4 優勝

第39回 茅ヶ崎杯・グリーンカップ4種サッカー2021年特別大会(兼2021年度協会長杯) 5年生の部大会が、3月27日予選リーグ、28日順位トーナメントが、柳島スポーツ公園競技場で行われた。今年度は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の為、茅ヶ崎杯・グリーンカップ4種サッカー大会が中止。県内外からの参加はなく、市内チームで争われた熱戦の末、FC50.4が優勝した。

- 優勝 FC50.4
- 準優勝 カルペソール湘南
- 3位 鶴が台スパイダース
- 敢闘賞 FC東海岸
- 2位パート1位 FC今宿
- 3位パート1位 FC松林ジョーズ



【上：優勝：FC50.4 左下：準優勝：カルペソール湘南 右下：3位鶴が台SC】

### 「つなぐ」という目標をつねに

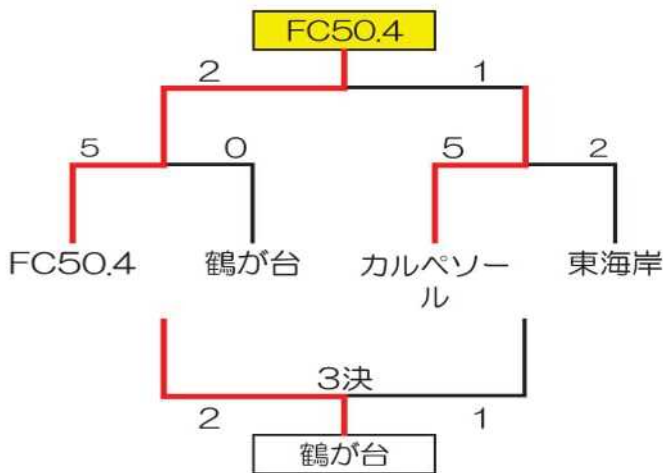
今回の大会を優勝できて良かったです。

優勝できたのは自分たちの力だけではなくコーチや大会に関係してくれた人たちのおかげで優勝できたと思います。

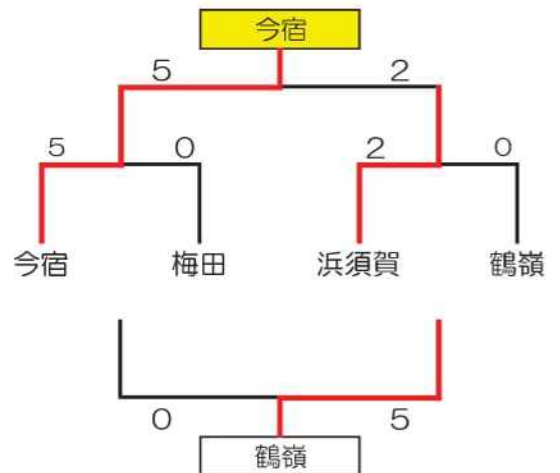
自分たちは「つなぐ」という目標をもって挑んでいるけど、完璧というわけではないのでもっともっと練習をし、うまく、強くなって優勝できたことに甘えず、市でも必ず優勝できるチームになって、県でも勝てるようなチームをつくり、キャプテンとして引っ張っていきたいです。

FC50.4 キャプテン  
鳥井辰也

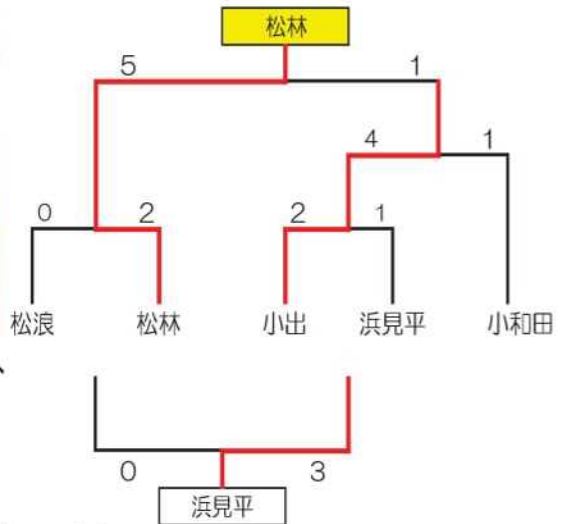
1stブロックトーナメント



2ndブロックトーナメント



3rdブロックトーナメント



表彰式では、協会長(右)表彰に続き、例年後援頂いている、茅ヶ崎グリーンライオンズクラブの野田会長(左)、理事の方々より、賞状、カップ、メダルの授与並びにご挨拶を頂きました。

## ~コーナーフラッグ~ 「感謝と喜び」

茅ヶ崎サッカー協会参与 広報委員会 三浦寛二

A代表日韓戦、ワールドカップ予選モンゴル戦、U-24アルゼンチン戦と久しぶりにTV観戦が楽しめた。

①4/11(日)柳島スポーツ公園で一般リーグ入れ替え戦(FC赤羽：ASC)観戦。走るスピード、展開するボールの速さ、キック力等に羨ましさを感じながら協会中村理事長、小幡一般委員長に挨拶。

次週より行われる「21年度茅ヶ崎市体育協会総合体育大会サッカーの部」の開催について、又1年以上になるコロナ禍でのリーグ戦、カップ戦運営のご苦労話等を伺う。中村理事長、小幡委員長も「自分がサッカーを見るのも、やるのも、又若い選手たちにサッカーをさせてあげるのも」苦労じゃないとさりげないが、寒い日も暑い日も、選手よりも早くグラウンドに来て、会場準備や新型コロナ感染防止の準備をされてられたようだ。本当にお疲れ様です。

②4/6(火)毎週火曜日、平塚ふれあいサッカー場で行われている「O-70神奈川交流会」神奈川県サッカー協会主催の県リーグ、県シニアリーグ主催のシニアリーグとは別に、70歳以上の県協会登録者186名が集い、交流戦を楽しんでいる。

コロナ要注意の高齢者だけに、運営担当者が3密に注意し、消毒液を準備、所定用紙に記入された健康チェック表、検温を確認。パスした選手だけがグラウンド入りを許されている。

①にしろ②しろ、コロナ禍の状況下、環境づくりに尽力されている協会役員、各委員長、及び当日の運営担当チームに感謝申し上げます。